

第二学年 前期期末テスト

令和四年九月九日(金)実施

I 国 語

- 教科書
P.34～ グループディスカッション
P.52～ 心をこめてわかりやすく書く
P.64～ 短歌十首
P.76～ 壁に残された伝言
P.85～ 部首と成り立ち
P.286 テーマ読書で魅力を新発見
(引用と著作権)
○漢字ワーク P.16～33 (⑧～⑯)
○夏休みの宿題

1 はじめのチャイムが鳴ったら冊子を開き、ページを確認して問題を解き始めてください。

2 わからない問題にこだわらず、できる問題から解きましょう。

3 解答は、解答欄に丁寧に記入してください。

4 指示がなくても漢字で答えるようにしましょう。

5 解答用紙にマス目がある場合は、句読点などもそれぞれ一字と数え、必ず一マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点などを一緒に置かず、句読点などは次の行の最初のマス目に書き入れなさい。

6 問題文を最後までよく読み、答え方に気を付けて解答しましょう。

7 文字は濃く大きく書き、句読点も書く場合は、分かるように書いてください。
読めない文字や汚い文字は採点しません。

8 二度書きをせず、消しゴムも気を付けて使用しましょう。

9 終わりのチャイムが鳴ったら、すぐに鉛筆を置いてください。

二年

組

番 氏名

問一 次の問いに答えなさい。(20)

【知・技】

- (ア) 次の1～4の各文中の——線をつけた漢字の読み方を、ひらがなで書きなさい。
- 1 発展途上にある。
 - 2 時雨の季節。
 - 3 コップに水を注ぐ。
 - 4 仕事の進捗状況。
 - 5 土産をもらう。
 - 6 慰霊碑を建てる。
 - 7 朝い生き方。
 - 8 横暴な振る舞い。
 - 9 慶弔用の礼服。
 - 10 賄賂を受け取る。
- (イ) 次の1～4の各文中の——線をつけたカタカナを漢字に直しなさい。必要ならば送り仮名も書くこと。

- 1 カセンの増水。
- 2 サンジを問う。
- 3 獲物をトラエル。
- 4 辞職をカンコクする。
- 5 要点をトラエル。
- 6 インキが高い。
- 7 ソウリで歩く。
- 8 カイガを描く。
- 9 ソデをまくる。
- 10 シナイを振る。

問二 次の問いに答えなさい。(23)

【知・技】

- (ア) 手紙について、次の問いに答えなさい。

- a 手紙の作法として正しい順番になっているものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
- 1 頭語↓書き起こし↓時候 安否の挨拶↓本文↓結びの言葉↓結語↓署名↓日付↓宛名
 - 2 頭語↓書き起こし↓時候 安否の挨拶↓本文↓結びの言葉↓結語↓署名↓日付↓宛名
 - 3 頭語↓時候・安否の挨拶↓書き起こし↓本文↓結びの言葉↓結語↓日付↓宛名↓署名
 - 4 頭語↓時候・安否の挨拶↓書き起こし↓本文↓結びの言葉↓結語↓日付↓署名↓宛名
- b 手紙についての説明として正しくないものを全て選び、その番号を答えなさい。

- 1 頭語には「拝啓」などがあり、結語と対応したものを選ばなければならない。
- 2 時候の挨拶は、季節や天候に応じた挨拶を述べるが、時に省略する場合もある。
- 3 日付は、本文より二～三字下げて書き、西暦を含めて書くより正式な手紙となる。
- 4 結びの言葉は、お礼や自分がへりくだった言葉で終える。
- 5 宛名は、「様」や「御中」などを相手の格式の高さに合わせて使い分ける。

- c 手紙の長所を一つあげなさい。

- (イ) 引用と著作権について、次の問いに答えなさい。

- a 引用するときの注意点として適するものを次の中から全て選び、その番号を答えなさい。
- 1 引用とは、自分の文章の中で他の人が書いた文章の一部などを少し工夫を加えて用いることである。
 - 2 引用する文は、自分の文章の補助的な役目を担うものとしてできるだけ広い範囲を指定する。
 - 3 元の文章を忠実に書き写す必要がある。
 - 4 書籍の場合は、「奥付」をもとに必要な要素を書き記し、出所を明示する。
- b 下の奥付から情報を読みとり、次の説明文を完成させなさい。

「この書籍の名称(書名)は 1 である。また、出版社は 2 であり、
3 に発行されたものと分かる。」

楽しく翠

1947年12月12日 第1刷発行

編 者——蔵野辰巳・近藤健

発行者——田浦緑子

発行所——船越堂

- (ウ) 次の単語について、活用するものには○を、活用しないものには×を付けなさい。

- a 少し短気なわたしの父です。
- b どの言葉を使うのがよいか。
- c 兄は早朝に家を出るらしい。

(エ) 線部の単語の品詞名をあとを選択肢から一つずつ選び、番号で答えなさい。※同じ番号を二回使ってもよい。

- a 自分の考えをはっきりと言う。
b 蛍の光だけが頼りだ。
c もっと強くなつて仲間を助けたい。
d ビーマンが食べられるようになった。
e 非常事態のときこそ、団結力が試される。

- | | | | | |
|------|-------|-------|--------|-------|
| 1 名詞 | 2 連体詞 | 3 接続詞 | 4 形容動詞 | 5 形容詞 |
| 6 助詞 | 7 感動詞 | 8 助動詞 | 9 副詞 | 10 動詞 |

(オ) 線部の品詞を答え、その理由を簡潔に説明しなさい。

- a 私たちはあの日のことを忘れてはならない。
b 話を聞く姿勢が自然とできるのがいい。

問三

次の文は、「おいしいオムライスの作り方を知るなら、本がよいか動画がよいか」というテーマの話し合いである。会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。(9)

【思・判・表】

- | | |
|---|--|
| A 私は動画がいいかなあ。 | C つまり、本だったら自分の知りたい情報だけを、自分の好きなタイミングで何度でも見ることができるとことだね。 |
| B 私も絶対、動画のほうがいい。 | A 確かに、 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; display: inline-block;"></div> |
| C どうして? | D でも、動画にしかないよきもあるよね。 |
| B だって、見たらすぐにわかるから。 | A 例えばどんなことがある? |
| A そうか、それって動画はイメージがしやすいってことだね。 | D 本は文章で書かれているから調理の様子がわかりにくいけど、動画だったら調理器具の扱い方とか火加減とか一目瞭然じゃない? |
| C なるほど。そういうことか。 | B そう!それが言いたかった! |
| D でも、動画って使いにくいときもあるでしょ。 | C ほうほう。本と動画にはそれぞれ違うよきがあることだね。 |
| B なんでそう思うの? | |
| E 動画だと、見たい部分まで飛ばしながら見ないといけないし、何より動画を見るもの自体ないと見る | |
| ことすらできないよ。 | |

- (ア) 「言い換え」にあたるセリフを二つ探し、その人のセリフの始めの三字を解答欄に書きなさい。
(イ) 会話文中の に、受容の役割を果たすセリフを前後の会話に合うように考え解答欄に書きなさい。

問四 次の短歌を読んで、あとの問いに答えなさい。(26)

- A くれなるの二尺伸びたる薔薇の芽の針やはらかに春雨のふる
B その子二十櫛にながるる黒髪のお(り)の春のうつくしきかな
C みちのくの母のいのちを一目見ん一目みんとぞただにいそげる
D 草わかば色鉛筆の赤き粉のちるがいとしく寝て削るなり
E 白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染ますただよふ
F 不来方のお城の草に寝ころびて
空に吸はれし

十五の心

G 葛の花 踏みしだかれて、色あたらし。

この山道を行きし人あり

H 列車にて遠く見ている向日葵は少年のふる帽子のいとし

I シャボンまみれの猫が逃げだす午下がり永遠なんてどこにも無いさ

J 細胞のなかに奇妙な構造のあらわれにけり夜の顕微鏡

(ア) A の歌について、情景を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 雨が薔薇の芽にしつとりと降り注ぐ、穏やかで美しい情景。
- 2 雨の日の暗い空のもとで、美しい薔薇が鮮やかに咲く情景。
- 3 若い薔薇の芽が、強く降り続く雨に静かに耐えている情景。
- 4 背丈の伸びた薔薇が、雨に負けずたくましく成長する情景。

【思・判・表】

(イ) B の歌について、次の問いに答えなさい。

- a この歌は何句切れか。解答欄に合うように、漢字で書きなさい。
- b 「お(り)の春」が示しているものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
- 1 新しいことが始まる春。
 - 2 不安でいっぱい春。
 - 3 自信に満ち溢れた青春。
 - 4 ひかえめな気持ちの青春。

【知・技】

c 短歌が詠んでいる内容として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。 【思・判・表】

- 1 愛する女性の美しさを賞賛して詠んでいる。
 - 2 自分の青春の美しさを大胆に詠んでいる。
 - 3 女性が髪をとかしぐさを写実的に描いている。
 - 4 若さを誇る女性を皮肉をこめて詠んでいる。
- C の歌について、次の問いに答えなさい。

【知・技】

a 作者の母がいる地名を短歌の中から書き抜きなさい。

b 「一目見ん一目見んとぞ」で用いられている表現技法と、それによって表されている作者の気持ちを「……という気持ち。」という書き方で簡潔に書きなさい。

(エ) E の歌について、次の問いに答えなさい。

- a 「哀しからずや」の意味として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。 【知・技】
- 1 悲しいはずがない。
 - 2 悲しくないのだろうか。
 - 3 悲しいそう。
 - 4 悲しむべきである。
 - 5 悲しまないようだ。
 - 6 悲しいかもしれない。

b 作者が「白鳥」の姿を見て抱いた思いとして適するものを次の中から二つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 純粋さ
- 2 孤高さ
- 3 珍しさ
- 4 行き場のなさ

【思・判・表】

(オ) Fの歌について、次の問いに答えなさい。

a この歌の作者は、三行で短歌を書くことで有名な人である。作者を次の中から選びなさい。

【知・技】

1 正岡子規 2 石川啄木 3 釈迦空 4 斎藤茂吉 5 若山牧水 6 北原白秋

b 「十五の心」の説明として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

【思・判・表】

1 十五回も変化する気持ち。 2 十五人の団結した意志。

3 十五歳の夢や不安。

4 十五種類のさまざまな感情。

5 十五年の月日と青春。

(カ) Gの歌について、作者の心情として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。【思・判・表】

1 自分より先に荒々しい山道を分けて行った人に共感をもっている。

2 自分以外にも山道を分けて行った人がいたので残念に思っている。

3 自分とは違い葛の花を踏みつける人がいたのを悲しく思っている。

4 自分が教えた山道を誰かが通ったことを知りうれしく思っている。

(キ) Hの歌について、この歌に比喩があることを示している語を三字で書き抜きなさい。【知・技】

(ク) 次の条件に当てはまる短歌をすべて選び、記号で答えなさい。

【知・技】

a 初句が字余りになっている短歌

b 体言止めになっている短歌

c 色の対比を表現した短歌

問五 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(25)

あなたは今、広島の雑踏に立って、半世紀以上も前の「あの日」を思い浮かべることができただろうか。原爆で辺り一面焼け野原になり、地獄のような光景が広がっていたことを想像できるだろうか。東京から転動で広島に赴任した私には不可能だった。私は赴任直後から、次の年の八月六日の原爆の日に放送する特別番組を作るために、「あの日」をたどる取材を始めた。被爆者の話や姿、被爆直後の写真、資料館に展示されている黒焦げの弁当箱やぼろの衣服。そのような断片を自分の中で貼り合わせてみたものの、それが本当にあの日の広島なのか、とうてい自信はもてなかった。

そのような中で出会ったのが「伝言」だった。

剥がれ落ちた壁の下から

広島市の中心部にある袋町小学校。すっきりと立つ長方形の白い鉄筋コンクリートの校舎。その壁の下に「被爆の伝言」の一部が見つかったのは、一九九九年春のことだった。校舎の建て替え工事に先立つ壁の点検中、階段近くの壁が偶然剥がれ、その下から文字らしきものが現れたのだ。よく見ると「寮内」という字が読めた。

「字の痕跡」としかいえないようなものが「読めた」のには理由があった。原爆の直後にこの壁を撮った写真があることを多くの人が知っていたからだ。東京の写真家が撮影し、しばらくの間、広島平和記念資料館(原爆資料館)にも展示されていたその写真には、階段近くの壁一面に書かれた伝言が写されていた。だから文字らしきものが見つかったとき、関係者は「ひょっとしてあれではないか。」と思ったのだ。

写真に写っている文章の中身や、階段の手すりや壁の位置関係などを細かく見比べると、確かにそれは、ある人の連絡先として記した「東鑑寮内」の一部だった。

もし壁が剥がれなかったら。もし写真が撮られていなかったら。写真は撮られていてもみんなが知るものでなかったら。そう考えると、実に①いくつもの偶然が重なって、奇跡的に伝言が発見されたことがわかる。

⑤

しかし、それだけではなかった。壁の下に文字が保存された事情もまた奇跡的だったのである。

実は、見つかった文字には、資料館に展示された写真の文字と一致しないことが一つだけあった。文字の色である。写真の文字は白い。当時の状況を鑑みれば、伝言が、黒く焼けた壁に白いチョークで書かれたものであることは明らかだ。ところが見つかった文字は黒かった。壁の下に文字は、どのように保存され、またどういった事情で白黒逆転して現れたのだろうか。

白黒逆転のメカニズム

一九四五年八月六日午前八時十五分、広島に原子爆弾が投下されて、市の中心部は一瞬にして破壊された。そしてすさまじい炎が町を覆った。市内の建物のほとんどを占める木造建築は「ごとく焼きつくされた」。

伝言が見つかった広島市立袋町国民学校西校舎は、鉄筋コンクリート三階建て。爆心地から僅か四百六十メートルの地点にあつて、辛うじて焼け残った。付近で残った建物は数えるほどしかない。西校舎は、一九三六年に建てられた、最新の設備を誇る建物だった。地上三階地下一階、水洗トイレ完備のモダンな建物は、当時通っていた子供たちの自慢だったという。

鉄の窓枠は校庭に吹き飛ばされ、床や黒板や壁の木材は焼き払われたので、残ったのは「打ちっばなし」のコンクリート部分だけだった。

しかし、雨露を防げる建物はなにしろ貴重だったから、校舎は原爆が落とされた直後から臨時の救護所となった。重傷を負った人たちが次々と運び込まれた。横たわる人の中に知り合いはいないか。探している人に関する情報はないか。行方知れずの人の消息を求めて②多くの人が訪れたと考えられる。

このとき、校舎の中の壁は、廊下や壁に貼られていた松の板材が焼けたときの煤で真っ黒になっていた。そして、床にはチョークが転がっていた。伝言が、凹凸の少ない、真っ黒なコンクリートの壁面を黒板代わりにして、白いチョークで書かれたこと。これが、伝言が保存されることになった第一の「条件」だったと専門家は指摘する。

更に「条件」が重なる。伝言の文字は、書かれたあと校舎が補修されるまでの間、そのまま放置された。書いた人の気持ちを考えて、消してしまうには③**恐びなかつた**のかも知れない。

ところで、黒板の端に書かれたままの「日直」という文字などが、年度の変わりめに消そうとすると、いくらすすめても消えなかつたという経験はないだろうか。チョークは、書いてすぐなら少し触っただけでも消えてしまうのに、しばらく置いておくと消せなくなる。これは、チョークの主成分(硫酸カルシウム)が、空気中の水分を吸って変質するからだ。戦後、校舎の補修で壁が塗り直された時期は定かでない。早くても、校舎で授業を再開するために救護所が閉じられた一九四五年の十一月以降である。少なくとも放置期間は数か月以上。チョークが固まるのに十分な時間があつたことになる。チョークの伝言がある期間放置されたこと。これが、伝言が保存されることになった第二の「条件」である。では、補修はどのように行われたか。古い壁の上に新しい壁を塗る場合、ふつうは新しい漆喰のりがよくなるように、いったん壁を洗い流してから塗るそうだが、壁を洗い流すといっても、こびりついたチョークをそぎ落とすにはかなり手間がかかる。しかもついているチョークは白いから、煤を洗い流して白くなった壁の中ではそれほど目立たない。少し盛り上がりしているだけで、塗り直しにもほとんど支障がない。こうした事情が重なって、チョークは壁に残つたのである。

ここで注目すべき点は、チョークが残つた部分の「チョークの下」の壁は黒いということだ。五十数年間、チョークが壁の煤を、その部分だけ保護したことになる。文字が黒かつたのは、チョークで書かれた文字によって守られていた煤が現れたからだ。ちなみにチョークそのものは、剥がれ落ちた壁にくっついて取り除かれた。これが、チョークで書かれた伝言が保存され、白黒逆転して現れたメカニズムだ。

五十数年という時間

「被爆の伝言」が発見された年の夏、④**新聞、テレビ**などのマスコミは、この話題を大きく取り上げた。報道をきっかけに「あの日」以来会えずにいた、伝言を書いた教師と、伝言に書かれた教え子が五十数年ぶりに再会するというニュースが話を更に盛り上げた。建物そのものの永久保存を訴える声、他にもまだひとつそりと眠っている伝言があるのではないかとという声がわきあがった。このような反響を受け、校舎の建て替え計画は変更され、校舎の一部保存と、伝言を見つけるための調査を行うことが決定された。戦後に塗られた壁を剥がして、文字を探すという前代未聞の調査である。

詳細な調査の結果、新たに文字が見つかったのは、最初の場所の近くにもう一か所。板壁を上から貼つたところで数か所。そのうち伝言がまとまって見つかったのは、一か所だけだった。

これを多いとみるか、少ないとみるか。伝言を校舎のあちこちで見たと記憶していた人にすれば、もっとあつたはずだという思いは強いだろう。しかし、もともと全て失われていたと考えられてきたことを思えば、成果は大きかつたと思えてよいのではないか。

考えさせられたのは、発見された伝言が多いか少ないかということよりも、それらの伝言が五十数年という時間を超えて出てきたことの意味だった。

もし戦後すぐに見つかったとしたらどうであつたらう。あの日をなまなましく語れる被爆者がおおぜいいて、被爆した建物や遺跡もまだ市内のあちこちに残っていたときなら、これほど大きな反響を呼ばなかつたのではないか。市内に残る被爆建物が僅かになり、被爆体験の風化が叫ばれる二十世紀の終わりだったからこそ、これほど注目されたのだ。

無限に連鎖する「あの日」

原爆の直後、愛する人の行方がわからず、必死で探す人が書いた伝言の文字には、何が写されているのか。発見された伝言を取材者として初めて見たとき、⑤**私は正直途方にくれた**。貴重な原爆の遺物であるという意味で迫力を感じた。だが、何が書いてあるのか文字を追うのさえ容易ではない。どこからどこまでが一つの伝言なのかもわからない。名前はいくつか読めるが、書いた人の名前なのか、探している人の名前なのかもわからない。その人がその後どうしたのかはもうわからない。

X

取材が進み、家族などの関係者が見つかつて、彼らと一緒に書かれた文字の前に立つたとき、

⑥驚くべきことが起こった。彼らはいとも簡単にそのかすれた文字を読み、「ああそうだったのか。」とつぶやいた。そして涙を流した。

それを横で聞きながら私は、もう一度、その文字を眺めた。⑦涙が出た。

書家でもなければ芸術家でもない人が書いた、しかもただ人を探すという目的のために書いた、文章ともいえない文字が、人の心をこんなに揺さぶるのか。半世紀の時を超えて、⑧伝言の文字の中から「あの日」があふれ出た瞬間だった。そして伝言に刻まれた「あの日」のことは、その話を聞いた多くの人々に伝わっていった。伝言のある場所に、直接には関係ない人々が集まってきた。人々は文字の前で口をつぐみ、立ちつくした。

「被爆の伝言」。それは現代の私たちに、あの日のことを静かに、力強く語ってくれる遺産であり、証人なのである。

⑨伝言の「あの日」が伝わっていく無限の連鎖は、今も続いている。

〈出典〉ヒロシマ——壁に残された伝言』を書き改めたもの〉

(ア)——線①「いくつもの偶然」について、その「偶然」に当てはまらないものを次の中から全て選び、その番号を

答えなさい。

【思・判・表】

- 1 壁がたまたま剥がれた偶然。
- 2 文字が白く残っていた偶然。
- 3 剥がれた壁の下に文字が残っていた偶然。
- 4 もともとの壁が写真に撮られていた偶然。
- 5 撮られた写真がしばらく展示されていた偶然。

(イ)——線②「多くの人が訪れた」について、その理由として最も適するものを次の中から全て選び、その番号を

答えなさい。

【思・判・表】

- 1 爆心地から離れていたため、この近所の人々が多く生き残ったから。
- 2 ほとんどの建物が焼け、雨風を防げる建物が周りにほとんどなかったから。
- 3 行方かわからない人の消息を求めて多くの人が立ち寄ったから。
- 4 もともと人々が大切に考えている建造物であり、愛着があったから。

(ウ)——線③「恐びなかった」について、「恐びない」の使い方として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

【知・技】

- 1 あまりにも残酷な方法で聞くに「恐びない」。
- 2 廊下を静かに歩くことは「恐びない」。
- 3 皆で集まり、「恐びない」話し方をする。
- 4 「恐びない」生活を日々していたので、雑踏に驚いた。

(エ)——線④「新聞、テレビなどのマスコミは、この話題を大きく取り上げた」について、その理由としてまとめた次の文に当てはまる言葉を、解答欄に合うように本文中から抜き出さない。

【思・判・表】

市内に残る) a(七字)「になり」、b(七字)「が叫ばれる二十世紀の終わりだったから」。

(オ)——線⑤「私は正直途方にくれた」について、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

【思・判・表】

- 1 伝言自体になぜ、世間が大騒ぎするのか、その意味を見出せなかったから。
- 2 歴史的に重要な発見を今後、どのように人々に知らせていけばよいか、分からなかったから。
- 3 伝言を書いたと思われる関係者が一向に見つからなかったから。
- 4 何が書かれているのか、どこまでが一つの伝言なのか、何もかもが疑問であったから。

(カ) 文章中の「X」にあてはまる言葉として最も適切なものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 次に
- 2 そして
- 3 しかし
- 4 では
- 5 また
- 6 例えば

【知・技】

(キ)——線⑥「驚くべきこと」について、それはどのようなことか。「私」は「理解」の二語を使い、四十文字以内で書きなさい。

【思・判・表】

(ク) 線⑦「涙が出た」について、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 今までの苦勞が報われたから。
 - 2 書いた人の必死の思いを想像できたから。
 - 3 原爆の恐ろしさを改めて感じたから。
 - 4 疑問が全てすっきりと解決できたから。
- 【思・判・表】

(ケ) 線⑧「伝言の文字の中から「あの日」があられた瞬間」について、それはどのような「瞬間」か。最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

【思・判・表】

- 1 「あの日」の様子や書き手の思いが思い起こされた瞬間。
- 2 「あの日」に伝言を読めなかったことを悔やんだ瞬間。
- 3 多くの人が亡くなった「あの日」の惨状を思い出した瞬間。
- 4 伝言に隠された「あの日」のメッセージを読みとった瞬間。

(コ) 線⑨「伝言の「あの日」が伝わっていく無限の連鎖は、今も続いている」についての説明として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

【思・判・表】

- 1 壁に見えられた「伝言」を通して、「あの日」の様子が直接には関係ない人々へと伝わっていつていくとらうこと。
- 2 壁に見えられた「伝言」を書いた人と伝えるべき人を探すための支援がこれから活発になっていくこと。
- 3 壁に見えられた「伝言」を後世にきちんと伝えるための保存運動の気運がますます高まっていくとらうこと。
- 4 壁に見えられた「伝言」は平和を願う遺産と言えるもので、もっと探すべきだという意見が出てくるとらうこと。

(サ) この文章の「伝言」という言葉について、次の問いに答えなさい。

【思・判・表】

a 伝言を人にたとえた言葉を漢字二文字で本文中から抜き出しなさい。

b 筆者はこの「伝言」をどのようなものだと考えているか。文章中の言葉を使って二十四字以内で書きなさい。

※たとえの表現などは使わずに書くこと。